

令和 7 年度国際環境協力基本研修 実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目 的

途上国由来の環境負荷が大きくなっていることから、地球環境問題や広域環境問題の解決には国際環境協力が重要であり、国及び地方公共団体等、各主体の取組が求められている。このため、環境に関する行政又は分析業務を担当している職員であって国際環境協力に関心を有する者に対し、講義、関連施設見学を通じて国際環境協力に関する基本的知識を習得し、国際環境協力への関心を高め、国際環境協力への参加の動機付けを目的とした研修を実施する。本研修では、国際環境協力の先進地である北九州市の豊富な知見を共有し、国際環境協力の問題や課題について討議するとともに、研修生間の交流を通じて、相互啓発及びネットワーク形成を図る。

2. 期間及び会場

本研修は、指定の日時に実施するオンライン講義を受講し、指定の期間に講義動画を全て視聴した上で、北九州市に集合し実施する。

(1) 期 間

全体：令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 30 日（金）

動画視聴期間：令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 27 日（火）

集合研修期間：令和 8 年 1 月 28 日（水）～1 月 30 日（金）

(2) 場 所

①講義等

タカミヤ環境ミュージアム （北九州市八幡東区東田 2 丁目 2-6）

JICA 九州（独立行政法人国際協力機構九州センター） （北九州市八幡東区平野 2 丁目 2-1）

KMM ビル （福岡県北九州市小倉北区浅野 2 丁目 14-1）

②現地見学

タカミヤ環境ミュージアム （北九州市八幡東区東田 2 丁目 2-6）

③宿泊先

アパホテル小倉駅前 （福岡県北九州市小倉北区浅野 2-14-65）

3. 教科内容 3 頁のとおり

4. 研修予定人数 30 名程度

5. 受講資格

次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 国及び地方公共団体等において環境に関する行政又は分析業務を担当している職員で、国際環境協力について関心を有する者
- (2) 研修受講に支障のない健康状態にある者
- (3) 所属長の推薦を受けた者
- (4) YouTube 環境調査研修所公式チャンネル（※）へのアクセスが可能な者

（※）<https://www.youtube.com/channel/UC90NhGSbfgGJ9MS2nLCFg1Q/featured>

6. 研修生の推薦方法

研修生を推薦する場合は、別紙様式による被推薦者名簿を添えて、**11 月 7 日（金）《必着》までに**、環境調査研修所所長あて文書により通知すること。2 名以上推薦する場合、被推薦者名簿に推薦希望の順位を示すこと。

なお、送付は電子での提出を基本とする。【提出先】：KYOMU_KA@env.go.jp

7. 被推薦者が定員を超えた際の調整方法

- ・同じ推薦機関で2名以上の希望があった場合、推薦希望順位に留意し、調整する場合がある。
- ・定員を超えた場合、地方公共団体を優先させていただく場合がある。
- ・被推薦者数を調整するに当たっては、過去の受講実績等を考慮する。

8. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6の推薦に基づいて研修生を決定の上、推薦者にその旨を通知する。

9. 修了証書の交付

- ・受講の状態（修了又は未修了）については、研修終了後、所属長に通知する。なお、所定の課程（原則として1割以上欠課した者を除く。）を受講した場合に修了とする。
- ・修了した場合、修了証書（電子データ）を交付する。

10. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

- (1)往復に必要な旅費（ただし、環境省の職員については、環境調査研修所から支給する。）
- (2)滞在費（ただし、宿泊施設は環境調査研修所が借り上げるため、費用負担は不要。）

11. 日程

別添2「日程表（令和7年度国際環境協力基本研修）」のとおり。

12. 研修実施方法

- ・受講生は、環境調査研修所がYouTube 環境調査研修所公式チャンネル（※）に掲載する講義動画を集合研修開始日前日までに視聴する。配信のURLは受講生決定後、対象者に通知する。
- ・講義動画の視聴確認はアンケートへの回答により行う。アンケートの提出先、提出期限は別途連絡する。
- ・集合研修は福岡県北九州市内において行う。集合場所・時間等は受講決定後に連絡する。

（※）YouTube 環境調査研修所公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC90NhGSbfGJ9MS2nLCFg1Q>

〔令和 7 年度国際環境協力基本研修／教科内容〕

1～2の動画講義については、令和 8 年 1 月 6 日（火）～1 月 27 日（火）の期間に、YouTube 環境調査研修所公式チャンネルに掲載する動画を視聴することにより受講する。

教課目	時間
I 国際環境協力の意義と実態を理解する	
1【動画講義】途上国の環境問題の現状とJICAの国際協力による取組 ・途上国における環境問題の実状と協力活動の実態について理解を深める。	1 時間 30 分
2【動画講義】途上国の環境問題に対する我が国の自治体・地域レベルでの取組 ・途上国における環境問題の実状を踏まえて、我が国における自治体での取組事例やその意義を学ぶ。	1 時間 30 分
3【基調講義】我が国の国際環境協力の現状と課題 ・我が国の環境行政の動向を学び、開発途上国等に対する我が国の環境協力の現状及び課題、今後の方向性について、概要を理解する。	1 時間 10 分
4【留学生とのディスカッション】 ・北九州市内の大学に留学している留学生との対話を通じ、海外の実態を理解する。	1 時間 40 分
5【国際協力経験者とのディスカッション】 ・海外協力経験者との対話を通じて、海外協力の実態を理解する。	1 時間 50 分
II 国際環境協力のベースとなるフィールドについて学ぶ（北九州市の事例）	
6【見学・学習】 ・北九州市における環境学習施設を訪問し、地域の環境関係の歴史と現状を理解する。	50 分
III 国際環境協力の具体的な実施事業を知る	
7【事例紹介】福岡県、北九州市の国際環境協力事例紹介 ・自治体による具体的な取組事例を紹介し、自治体の環境協力の考え方を理解する。	1 時間 40 分
8【活動紹介】日本の国際協力の現状と自治体への期待 ・JICA の国際協力の取組を学ぶとともに、自治体が国際環境協力に取組む意義を理解する。	1 時間 20 分
9【事例紹介】「滋賀・琵琶湖から世界へー第 1 回世界湖沼会議から「世界湖沼の日」に至る滋賀県の取組ー」 ・世界に通ずる自治体の先進的な取組を学ぶことで、自治体の国際環境協力の在り方等を理解する。	1 時間 30 分
IV 得られた知識を活用するために	
10【演習】講義、施設見学、対話を踏まえて、各自の今後の取組についてグループ討議	5 時間 10 分
V その他 開・閉講式、オリエンテーション	40 分
合計（時間）	18 時間 50 分

（注）都合により一部変更になることがあります。

※開講式は 9 時 0 0 分から行います。集合時間・場所は受講決定後にご連絡します。

※最終日の閉講式終了時刻は 1 2 時 0 0 分頃を予定しておりますが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。帰路の航空機、列車等の都合により、講義や閉講式等を欠席することは認めません。